

特定健診における血清クレアチニン検査について

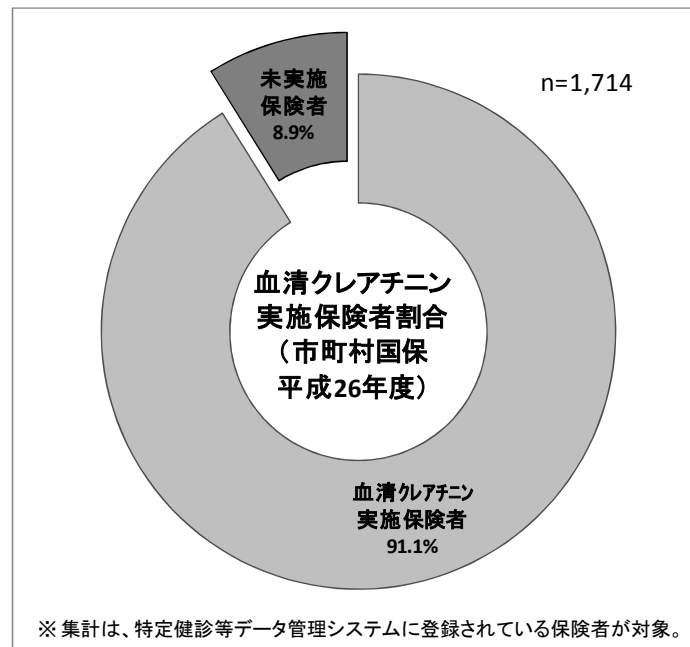
(特定健診等データ管理システム(市町村国保分)より)

平成28年7月29日
国民健康保険中央会

平成26年度において市町村国保の全保険者は1,716であるが、本会の特定健診等データ管理システムに登録している保険者数は1,714(99.7%)となっている。

そのうち血清クレアチニンの検査データが登録されている保険者は1,562(91.1%)であり、血清クレアチニン検査実施者は670万1,884人となっている。

保険者は、糖尿病性腎症重症化予防事業等について本検査(eGFR)結果を保健指導の内容検討に活用するなどしているので、血清クレアチニン検査を基本項目とすることを検討していただきたい。



【参考】

「平成26年度市町村国保特定健康診査・特定保健指導実施状況概況報告書」(国保中央会)における平成26年度特定健診結果速報値では、特定健診受診者は783万5,065人である。